

令和7年度 第2回 酒田市公民館運営審議会 次第

日 時：令和8年3月2日（月）午後1時30分～

場 所：酒田市総合文化センター 412号会議室

1 開 会

2 社会教育課長あいさつ

3 審議会委員長あいさつ

4 協 議

- (1) 令和7年度 主要事業実績について

資料1

- (2) 令和8年度 主要事業計画（案）について

資料2

- (3) その他

5 報 告

- (1) 酒田市生涯学習推進計画【後期計画】について

資料3

- (2) 令和7年度社会教育活動等の実施状況について

資料4

- (3) その他
 - ・令和8年度第17回山形県社会教育研究大会について . . .

資料5

6 そ の 他

7 閉 会

令和7年度 公民館運営審議会委員名簿

任期：R7.6.1～R9.5.31

	氏名	推薦団体等	備考
1	鈴木 有人	酒田市小学校長会	
2	岡田 哲秀	酒田飽海PTA連合会	
3	五十嵐 勤	酒田市自治会連合会	
4	渡部 美恵子	一般社団法人 酒田市芸術文化協会	
5	西村 勇人	一般社団法人 酒田青年会議所	
6	大滝 美樹	酒田地区私立幼稚園・認定子ども園連合会	
7	加藤 千鶴	識見を有する者	
8	佐藤 純子	識見を有する者	
9	川上 はるみ	識見を有する者	

事務局

	氏名	役職
1	前田 聡子	酒田市教育委員会社会教育課長
2	丸藤 真也	酒田市教育委員会社会教育課長補佐
3	鈴木まゆみ	酒田市教育委員会社会教育課社会教育主査兼社会教育係長
4	尾形 美枝	酒田市教育委員会社会教育課社会教育主査
5	小池 多栄	酒田市教育委員会社会教育課社会教育係調整主任
6	長南 健太	酒田市教育委員会社会教育課社会教育係主事
7	工藤 暢晃	酒田市教育委員会社会教育課社会教育係主事
8	伊藤 綾	酒田市教育委員会社会教育課社会教育指導員
9	朝岡 浩子	酒田市教育委員会社会教育課社会教育指導員
10	大川 恵子	酒田市教育委員会社会教育課社会教育指導員

令和7年度 社会教育課主要事業

教育委員会社会教育課

【令和8年2月時点】

<生涯学習推進計画の基本目標>

人づくり・・・自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人を育みます。

地域づくり・・・酒田の良さを愛し、地域社会を協働で創る担い手となる人を育み、持続可能なまちづくりに努めます。

基本施策Ⅰ 生涯学習の機会や場の充実 <学ぶ>

Ⅰ－1 人生100年時代を見据えた学びの推進

(1) 全世代を対象にした事業の充実 (2) 乳幼児期を対象にした事業の充実 (3) 高齢期を対象にした事業の充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
酒田愛ごはん	伝統的な食材や食文化について学ぶ	①手作り味噌 ②むき蕎麦と酒田伝統食 ③防災食(親子で学ぼう! 湯煎で簡単防災ごはん) ④簡単おせち	①6/7 10:00～12:00 ②7/12 10:00～13:00 ③11/15 → 中止 ④12/6 10:00～13:00 会場: 中央公民館	①10組(小学生以下保護者同伴) ②16人(成人) ③ 中止 ④16人(成人)	○実施した講座の受講希望者は定員を超え、新規の参加者も多数見られた。満足度100%となり、伝統食を通じた郷土愛の醸成を図ることができた。 ●一度に取り組むメニューが多いため、郷土料理にもっとじっくり取り組みたいとの声があった。 →同じ講師による料理教室は終了し、子どもの体験活動の講座へ移行していく。
市民生涯学習支援事業	市民各層の人材の情報収集をし、市民自らが講座を企画から運営まで実施することで生涯学習の振興を図る。	今まで学んだことの知識や経験を生かした講座の企画・運営ができる方を生涯学習の指導者として登録。市民が企画・運営する講座を支援する公募型事業。 支援内容: 受講生募集と教室使用料の減免(最大5回分)	企画講座の提案なし		●講師謝礼の支援がなくなったことと周知不足のため申請がなかった。 →十分な周知を図り、講座企画を支援していく。
スマートフォンの使い方講座	デジタルデバイド解消のため、主に高齢者にむけて、スマホ等に触れる場を提供する。	スマートフォン体験 ①スマホの基本とLINE体験 ②スマホの基本とネット詐欺対策	①7/23 13:30～15:30 ②8/26 13:30～15:30 会場: 中央公民館	①13人 ②11人	○スマートフォンの画面を見ながら操作できるので、スマートフォン自体に不慣れな方にもわかりやすかった。 ●市広報が月1回の発行となり、情報が伝わりにくくなっていると思われる。 →学生ボランティア等でもスマートフォンの使い方講座を開催しており、公民館事業としての講座は終了予定。
幼児すてっぷ出前講座	保育園、子ども園と連携し、「遊び」を通じた幼児教育を実践。	講師派遣。①集団積木遊び、②楽しくチア体験、②よねさんの紙芝居、④絵本の世界を楽しむ	6月～2月の9:00～11:30の間で1講座40分から120分 会場: 各園	実施: 23園	○各コースとも、子どもの感性や創造性を育む内容であり、日常の子どもの指導に役立てられた。 ●人気のある「集団積木遊び」のメニューは、今年度限りで講師から申し出があった。 →新たな講師を探して、体験メニューに加えていく。

I-2生涯学習機会の提供

(1)各種講座の提供 (2)学習成果の発表の場の確保

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
生涯学習まつり2025	市内で活動している生涯学習サークル・団体などの成果発表を通して、生涯学習サークル・団体・教室の会員等の交流を図るとともに、より一層の市民に身近な生涯学習の振興を目指す。	生涯学習サークル・団体の活動発表	10/18(土)～19(日)(2日間) 1日目:9:00～16:00 2日目:9:00～15:00 会場:中央公民館	参加団体目標数:39団体 →実績38団体 入場者目標数:2,500人 →実績4,211人	○生涯学習活動の成果を発表できたとする参加団体の割合が8割近くあり、他団体との相互交流も図れたというアンケート結果だった。また入場者目標数も達成することができた。 ●2日目はつや姫マラソンの日程と重なったため、交通規制もあり入場者数が少なかった。 →来年度はつや姫マラソンと重ならないよう10月24日、25日の土日で開催予定。
酒田マリーニジュニア合唱団	音楽と合唱を通して豊かな心を育み、異年齢間の仲間づくりを進める。	定期練習、定期演奏会等への出演	6月～3月 (土曜日、24回) 10:00～11:30 会場:中央公民館ほか	活動:25回 団員11名 新規入団者数:2人	○11月に若竹ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』に挑戦し、合唱だけでなく演技にも楽しく取り組むことができた。2月にはユネスコ童謡を歌う会で観客と一緒に童謡を歌い、達成感を味わうことができた。 ●2人の新規加入があったものの、途中退団もあり、前年に比べると団員数が3人減少した。少子化も進んでおり、団員数の維持が課題となっている。 →新規入団のメンバー募集に努めていく。
酒田海洋少年団	少年少女が海に親しみ団体生活の規律を通して社会性を身につけること等を目的とする。	水泳訓練、カヌー訓練、手旗、ロープワーク等	活動予定 通年(月2～3回、日曜日) 会場:中央公民館、訓練場所(新井田川、光ヶ丘プール、消防本部等)	活動:28回 団員17名 新規入団者数:0人	○8月に東京で開催の全国大会競技の部への参加、9月にはひらた生涯学習センターで新潟団との合同合宿を行うなど、通常訓練だけでなく課外訓練も充実させることができた。 ●今年度は海洋少年団創設以来、初めて入団者が0人だった。少子化も進んでいることや児童のクラブ活動などが多様化していることもあり、団員数の維持及び新規団員の呼び込みが課題となっている。 →課外活動を体験入団と兼ねるなどして、新規団員の募集活動に努めていく。

I-3家庭・学校・地域の連携

(1)家庭教育支援の充実 (2)学校での学びの充実 (3)地域での学びの充実 (4)連携による事業の充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
幼児すてっぷ出前講座【再掲】	—	—	—	—	—
夏休み宿題お手伝い教室	退職公務員(元教職員)連盟酒田飽海支部と公益大生、中高生ボランティア「かざみどり」とが、夏休みの宿題学習の支援を行い、子どもの居場所づくり、仲間づくりを行う。	夏休み帳、各種ドリル等で手助けしてほしい教科や内容についてアドバイス。	8月(全4回) 9:30～11:30 会場:中央公民館	8/4(月),5(火),7(木),8(金)の4日間 参加者数:24人	○全児童の宿題がはかどり楽しく過ごせたということで、満足度100%となり目標達成できた。 ○他校の児童とも仲良くなり休憩時間に楽しく遊んだり、学習中も声をかけたりと交流が見られた。 ○児童一人ひとりの躰きに丁寧に対応していただき、わかる楽しさを味わわせることができた。 ●学校教育課から借りた教科書1冊が戻ってこなかった。 →月曜日から金曜日までの5日間のうち、水曜日を休みとして4日間の講座としていたが、3日間連続で実施した方が集中力と意欲の持続が見られるという意見もあり、R8年度は連続した3日間の講座とする。

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
地域人材交流講座	小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する地域の人材を生かした学習を展開し、学習活動における学習意欲や実践意欲の高揚を図る。	小中学校と連携し実施。地域人材による学校支援。クラブ活動、生き方学習、農作業体験、読み聞かせ、地域の文化や歴史・自然を学ぶ学習、スポーツなど	5月～2月 各学校の授業の時間帯(特別活動(クラブ)、生活科、理科、社会、国語、総合学習、その他の活動等) 会場:各学校ほか	学校からの実施計画:281回(小学校21校、中学校5校)※需要に応じ調整した →実績見込み:280回(26校×1～15回)	○小・中学校において、専門的な知識や技能を有する地域の人材を生かした学習を展開し、学習活動における児童生徒の学習意欲や実践意欲の高揚を図ることに寄与することができた。 ●謝金の計画的な活用のため、実施要項の細部や関係書式を修正したが、円滑な事業実施のため、さらに簡略化するなど、検討する必要がある。 →謝金の計画的な活用について働きかけを行い、適正な事業執行に努める。
酒田っ子はぐくみ事業	小中学校と連携。現代社会を生き抜くうえで確かな力、身に付けなければならない基本的な知識の習得、職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上を図る。	講師派遣。①キャリア教育コース、②音楽でコミュニケーション、③コミュニケーション講座、④キャリア形成支援、⑤郷土に学ぶ、⑥郷土と「おもしろ」つながる	6月～2月の9:25～12:15、13:20～15:30の間で1講座45分から120分授業 会場:各学校	実施予定:18回	○各メニューの実施により身につけなければならない基本的な知識の習得、職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上に寄与した。中学校での実施もR5:1件、R6:3件、R8:5件と取り組みが広がった。 ●キャリア関係メニューの利用が少ない状況にとどまっている。 →キャリア関係メニューの見直しを行っていく。
親子ですくすく出前講座	子ども園・保育園・子育て支援センター等と連携。親子でのふれあい体験や保護者の学ぶ機会の提供を行い、家庭教育の支援の充実を図る。	講師派遣。①親子体験コース(ネイチャーゲーム、ヨガ、絵本作り、フィットネス、カード作り、リトミック、トランスパレント、ボール)、②保護者支援コース(子育て講演会) 【県補助事業「幼児共育ふれあい広場」】	6月～1月 1講座60分から90分 会場:各園等	実施:20回	○今年度「親子体験コース」のメニューを新たに1つ増やして8メニュー(昨年度のメニューより1減の1増)にした。昨年度は3メニューに申し込みが集中したが、今年度は各メニューの申し込みに偏りが見られなかった。5年ぶりに復活した「ボール遊び」には2施設の申し込みがあり、保護者や実施者に大変好評であった。 ●保護者支援コース・親子体験コースともに、来年度それぞれ2人の方がご勇退ということで、講師の高齢化、後継者選びが課題である。 →来年度は保護者支援コースに新たに2名、親子体験コースに新たに1名の方が講師を引き受けてくださることになった。
地域家庭教育講座	小中学校と連携。家庭教育の充実を図るため、PTA・学校・地域が互いに協働し、ライフステージに応じた学習機会の提供や、親子共同の体験型学習の提供を行い、家庭の教育力の向上を推進する。	子育てに関する講座や親子共同の体験型学習の実施について、講師、協力団体謝金の一部支援。(生活習慣、健康管理、心の理解と支援等の講話等) 【県補助事業「やまがた子育て講座」】	9月～2月 1講座40分から70分 会場:各学校	実施校:10校	○小学校においては、参考として紹介した講師だけでなく幅広く講師を選定する学校が出てきたので、それを来年度に活かしていきたい。 ●「地域家庭教育講座」については、中学校の申し込みがなかった。中学校のニーズに合わせた講座内容を検討し、講師の紹介を行っているが難しい状況である。 →中学校の学校経営訪問や学校評議員会に今年度から参加させていただいている。その時にPTA研修会等で活用をお願いしたりPRしたりする。

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
鳥海山・飛島ジオパーク講座	鳥海山・飛島ジオパークが日本ジオパークネットワークの認定を受け、自然・歴史・文化等について学ぶ機会をつくり、郷土を愛する心を育て、鳥海山・飛島ジオパークの活性化に資する。	①飛島ジオツアー(現地学習)成人対象 中止 ②飛島ジオツアー(現地学習)小学生の親子対象 ③誰かに話したくなるジオ講座(座学+現地学習)成人対象 ④史跡探訪ジオツアー(現地学習)成人対象	①5/24(土)9:00～17:00 中止 ②7/12(土)9:00～17:00 ③9/20,27(土)(全2回) ④11/1(土) 会場:中央公民館、現地(飛島、釜磯海岸、牛渡川・丸池様、イヌワシみらい館、玉簾の滝、小山崎遺跡・古四王神社、鳥海山大物忌神社吹浦口宮、八森遺跡、城輪柵跡、鹿島神社等)	①参加者数11人 中止 ②参加者数4組8人 ③参加者数11人 ④参加者数16人	○成人対象のジオパーク講座は大変人気があり、毎回参加申し込みが初日あるいは数日で定員に達する。参加者アンケートも満足度100%である。 ●小学生の親子対象の飛島ジオツアーは実施したものの参加申し込みが少なかった。ただ、参加した親子からは好評だった。 →親子または小学生対象のジオパーク講座については検討する。
東北エプソンうで時計づくりと工場見学	子どもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらい、年齢や学年が違う子どもたちが交流しながら楽しく学ぶことを、ものづくりの意欲を高めてもらう。	東北エプソン株式会社との連携事業で、うで時計づくりの体験講座と工場見学をさせてもらう。うで時計の材料代や講師も東北エプソンで準備いただく。	8/8(金)8:45～12:30 会場:東北エプソン株式会社	参加者数:16人	○ものづくりの楽しさを知ってもらうことができた。年齢や学校が違う子どもたちが交流しながら楽しく学ぶこともものづくりの意欲も高まった。 ●キントーンでの受付で、一度に複数名の申し込みが可能だったので、受付前に確認する必要がある。 →市との連携事業だが、夏休み開催となると7/1市広報の原稿締切に間に合うように実施決定する必要がある。

基本施策Ⅱ 生涯学習活動の支援体制の充実 <つながる>

Ⅱ-1 広報・情報提供体制の充実

(1) 学習情報発信のあり方 (2) 人材の活用と育成 (3) 相談体制の充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
生涯学習情報の提供	学校を通して市内全小中学生へ情報を提供。媒体を分けて、より多くの方に情報が届くよう情報発信を実施。	カモンくんこどもニュース(隔月)、市ホームページ(随時)、市フェイスブック(随時)、市広報(随時)での情報提供			○カモンくんこどもニュースでは、当課主催事業を中心に関係各課や市立図書館等の情報も提供することができた。 ●カモンくんこどもニュースは印刷して市内の小中学生に配布しているが、年齢が上がるほど保護者の目に触れることが少ないという声もあり、情報提供の方法も検討していきたい。 →年5回発行を基本とし、提供方法についてはデータでの提供も含め、必要に応じて臨機応変に対応する。
市民生涯学習支援事業【再掲】	—	—	—	—	
ホール機器操作講習会	ホールの機器操作資格者を養成し、総合文化センターホール・シアターOZの利用促進を図る。	自主活動推進のため総合文化センターホール・シアターOZの機材・器具の操作講習会。	①シアターOZ(3日間全1回) 4/16～18 ②総合文化センター(3日間全2回)2/2～4、16～18	①4/16～18開催:19人 ②2/2～4開催:10人 2/16～18開催:8人	○シアターOZの修了者19人、総合文化センターの修了者18人 ●1年に1度、3日間の集中講座となっており、受講のハードルが高いと思われる。 →利用者が安全に利用できるよう、引き続き基本操作の習得を目的とした講習会を実施する。

II-2 関連施設の利活用

(1) 利用者ニーズの対応

(2) 生涯学習関連施設の利活用

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	実績等	成果○と課題●→今後の対応	
生涯学習施設管理運営事業	誰もが等しく活用できるように、必要な改修や修繕を行うなど、安全・快適で使いやすい施設運営に努める。	管理運営施設：総合文化センター、清亀園、出羽遊心館、公益研修センター、ひらた生涯学習センター、ひらた農村コミュニティカレッジの施設維持管理と施設運営。	通年		施設の老朽化により修繕に要する費用が多額となっている状況で、安全対策を優先して対応している。 また稼働率が低い施設への利活用の促進を図るよう努めている。	○緊急を要する修繕にはすぐに対応し、利用者が安全に利用することができた。 ●施設・設備の老朽化による不具合が度々発生している。 →利用者が安全に使用できるよう、引き続き計画的に修繕・更新を実施していく。
生涯学習施設「里仁館」補助金	庄内一円の生涯学習振興をさらに推進するため、教養講座や親子講座、特別講座等の各種事業を実施する運営費に助成を行う。	生涯学習施設「里仁館」への補助金への交付(5,193千円)	通年	①里仁講座 12講座 698人 ②教養講座 6講座 277人 ③現地学習 1講座 36人 ④親子講座 3講座 83人 計1,094人	○庄内一円の多くの方へ学びの機会を提供することができた。 ●施設の老朽化が進んでいる。	

基本施策Ⅲ 生涯学習の成果の活用 <生かす>

Ⅲ-1 学校・大学との連携の推進

(1) 各種教育機関との連携

(2) 学生と市民との学習交流活動の推進

Ⅲ-2 地域活動との連携の推進

(1) 地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実

(2) コミュニティ組織の育成・強化

Ⅲ-3 地域人材の育成

(1) 地域の人材の把握

(2) リーダーや指導者の育成

Ⅲ-4 公益活動の充実

(1) 公益活動の推進と支援

(2) 地域行事への参加の促進

Ⅲ-5 持続可能なまちづくり

(1) 学びの循環による魅力のある地域づくり

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
社会教育スキルアップ講座	各地域の特色を生かした社会教育事業の推進のため、コミュニティ振興会の職員等の資質向上と地域人材育成を図る。	山形県社会教育研究大会へ参加し、県内各地域の特色ある活動事例を研修し、課題解決や地域活動に活かす。	10月17日(金)川西町(全1回)	参加者数:11人 (コミュニティ振興会職員ほか)	○県内市町村の様々な取組みを聞くことができた。 ●R8酒田市開催に向け、コミ振職員等へ多くの参加を呼び掛けたものの参加者が少なかった。 →R8は酒田市開催となるため、多くのコミ振職員等から参加いただけるよう周知を図る。

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
地域の教育力向上事業	地域全体で「地域の子」「社会の子」として、子どもと地域の人々と交流できる機会を設け、自然に親しみ、社会のルールを身につけ、自分の考えをしっかりと伝える力などを育む。	コミュニティ振興会における地域の特性を生かした青少年の体験活動や健全育成に係わる講座などの実施について支援。	4月～3月		○各地区で伝統行事など特色ある事業を通して、子どもと地域の人々との交流や地域の活性化が図られている。 ●対象となる児童生徒の減少により、参加者の確保に苦慮している地域・事業もある。 →今後も各地区の活動状況を把握し、情報共有・情報交換等を図り、地域との連携を深める。まちづくり推進課の交付金、「地域の教育力向上事業加算」が「子どもまんなか応援加算」に代わり、対象が市街地も含めた市全域のコミュニティ振興会になる。
夏休み宿題お手伝い教室【再掲】	-	-	-	-	
中高生ボランティア活動支援	ボランティア活動とふれあい交流を通して、思いやりの心を育み、異年齢間の交流を推進する。	中高生ボランティアサークルかざみどりへの支援。	活動予定(年間計画)10回 会場:中央公民館ほか、各ボランティア実施会場(コープなかのくち店等)	会員数:26人 新規入会者数:8人	○社会貢献への実感と喜びがあったとの声が複数あった。高齢者や小さな子どもなど対応する相手に合わせた接し方や話し方を工夫する様子が見られた。 ●学業や部活動などで忙しい学生もいるため、活動に参加する学生が固定化している。活動日程の設定が難しい。例年決まった活動内容となっており新しい取り組みがあまりない。 →一定例会等で他団体の取組等を紹介したり、会員のやりたいことを聞き取ったりして、活発な活動につなげていく。
鳥海山・飛島ジオパーク講座【再掲】	-	-	-	-	
酒田の偉人紹介事業 ＜ふるさと教育関連事業＞	酒田で生まれ、全国的に各方面で活躍し、歴史に足跡を残した人々の肖像画(写真)を市内小中学校に掲示し、児童生徒から興味を持ってもらい将来の夢や希望を育み、郷土愛の醸成に資する。R3紹介偉人(土門拳、吉野弘、茂木善作)R6紹介偉人(岸洋子)R7新規紹介対象偉人(中村恒也)		通年(市内21小学校、7中学校に掲示)		○これまでに5人の偉人パネルを配布し、各学校で掲示してもらっている。 ●毎年パネルが増えるため、学校の掲示スペース圧迫してしまっている。 →パネルの配布は終了し、「酒田っ子根の力育成プロジェクト事業」で郷土愛の醸成を図っていく。

＜新規事業＞

事業名	目的	内容	期日・時間帯・会場等	参加者数・実績等	成果○と課題●→今後の対応
酒田っ子根の力育成プロジェクト事業	酒田っ子につけたい力を「まなびの樹」にたとえ、よりよい社会や幸福な人生に向けて、学びを活かしていく「根の力」を育てる事業を展開する。	①吉野弘氏の詩に触れる朗読会を開催する ②異年齢で交流する場を提供するため、自然体験活動(チャレンジ冒険団)を実施する ③ものづくりの楽しさを知り、意欲を高めるために中村ものづくり事業との連携を図る ア.サイエンス発明塾 イ.チャレンジものづくり塾 ウ.ものづくり祭り	①12/13(土)13:30～ ②11/9(日)9:30～12:00 ③ア.6/28(土)9:00～ イ.8/2,23,30,9/6(土)9:00～ ウ.10/4(土)10:40～ロボットコンテスト ウ.10/4(土)11:00～	①出演:高校生22人、地元合唱団体他 入場:150人 ②5人 ③ア96人、イ19人、ウ772人(延べ1,326人)	○①自分自身の成長に繋がったと答えた生徒が9割に上った。吉野弘さんの作品や思いを若い世代に伝える機会となった。 ●①若い世代の来場者が少なかった。 ○②身近にある自然を感じる楽しみ方を体験し、異年齢の児童どうし交流することができた。 ●②参加者が少なかった。 →②内容を検討する。 ③R8年度は事務局が社会教育課となり、学校教育課と連携しながら進める。

令和8年度 主要事業（案）

資料2

教育委員会社会教育課
【令和8年2月時点】

<生涯学習推進計画の基本目標>

人づくり・・・自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人を育みます。
地域づくり・・・酒田の良さを愛し、地域社会を協働で創る担い手となる人を育み、持続可能なまちづくりに努めます。

I <学ぶ>人生100年時代を見据えた学びの推進

第1節 生涯学習機会の提供

(1)各種講座の充実 (2)学習成果の発表の場の確保

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
市民生涯学習支援事業	市民各層の人材の情報収集をし、市民自らが講座を企画から運営まで実施することで生涯学習の振興を図る。	今まで学んだことの知識や経験を生かした講座の企画・運営ができる方を生涯学習の指導者として登録。市民が企画・運営する講座を支援する公募型事業。支援内容は、市広報等を活用した受講者募集と、5回を限度とした中央公民館使用料の免除	未定	指導者登録:通年 指導者企画講座:1講座募集
鳥海山・飛島ジオパーク講座	鳥海山・飛島ジオパークが日本ジオパークネットワークの認定を受け、自然・歴史・文化等について学ぶ機会をつくり、郷土を愛する心を育て、鳥海山・飛島ジオパークの活性化に資する。	①飛島ジオツアー(現地学習)成人対象 ②誰かに話したくなるジオ講座(座学+現地学習)成人対象 ③史跡探訪ジオツアー(現地学習)成人対象	①6/6(土) ②9/5、12(土)(全2回) ③10/3(土)	①参加者目標数15人程度 ②参加者目標数14人程度 ③参加者目標数14人程度 参加者目標数:のべ43人
夏休み宿題お手伝い教室	退職公務員(元教職員)連盟酒田飽海支部と公益大生、中高生ボランティア「かざみどり」とが、夏休みの宿題学習の支援を行い、子どもの居場所づくり、仲間づくりを行う。	夏休み帳、各種ドリル等で手助けしてほしい教科や内容についてアドバイス。	8月(全3回) 9:30~11:30	8/5(水)、6(木)、7(金)の3日間 参加者目標数:30人
生涯学習施設「里仁館」補助金)	庄内一円の生涯学習振興をさらに推進するため、教養講座や親子講座、特別講座等の各種事業を実施する運営費に助成を行う。	生涯学習施設「里仁館」への補助金への交付(4,721千円)	通年	①里仁講座 12講座 ②教養講座 4講座 ③社会見学講座 1講座
生涯学習まつり2026	市内で活動している生涯学習サークル・団体などの成果発表を通して、生涯学習サークル・団体・教室の会員等の交流を図るとともに、より一層の市民に身近な生涯学習の振興を目指す。	生涯学習サークル・団体の活動発表	10/24(土)~25(日)(2日間) 1日目:9:00~16:00 2日目:9:00~15:00	入場者目標数:2500人
酒田マリーングジュニア合唱団	音楽と合唱を通して豊かな心を育み、異年齢間の仲間づくりを進める。	定期練習、定期演奏会等への出演	6月~3月 (土曜日、21回) 10:00~11:30	新規入団者目標数:4人
酒田海洋少年団	少年少女が海に親しみ団体生活の規律を通して社会性を身につけること等を目的とする。	水泳訓練、カヌー訓練、手旗、ロープワーク等	活動予定 通年(月2~3回、日曜日)	新規入団者目標数:10人

第2節 家庭・学校・地域での学び

(1)家庭教育の充実 (2)学校での学びの充実 (3)地域での学びの充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
地域家庭教育講座	小中学校と連携。家庭教育の充実を図るため、PTA・学校・地域が互いに協働し、ライフステージに応じた学習機会の提供や、親子共同の体験型学習の提供を行い、家庭の教育力の向上を推進する。	子育てに関する講座や親子共同の体験型学習の実施について、講師、協力団体謝金の一部支援。(生活習慣、健康管理、心の理解と支援等の講話等) 【県補助事業「やまがた子育て講座」】	6月~2月 1講座40分から90分	実施予定校:11校
幼児すてっぷ出前講座	保育園、子ども園と連携し、「遊び」を通じた幼児教育を実践。	講師派遣。①楽しくチアダンス、②よねさんの紙芝居、③絵本の世界を楽しもう ほか	6月~2月の9:15~11:30、 13:45~14:30の間で1講座 30分から2時間	実施予定:25園

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
親子ですくすく出前講座	子ども園・保育園・子育て支援センター等と連携。親子でのふれあい体験や保護者の学ぶ機会の提供を行い、家庭教育の支援の充実を図る。	講師派遣。①親子体験コース(ネイチャーゲーム、ヨガ、絵本作り、アート体験、フィットネス、カード作り、リトミック、陶芸)、②保護者支援コース(子育て講演会) 【県補助事業「幼児共育ふれあい広場」】	6月～2月 1講座60分から120分	実施予定:34回
地域人材交流講座	小中学校において、地域で専門的な知識や技能を有する地域の人材を生かした学習を展開し、学習活動における学習意欲や実践意欲の高揚を図る。	小中学校と連携し実施。地域人材による学校支援。クラブ活動、生き方学習、農作業体験、読み聞かせ、地域の文化や歴史・自然を学ぶ学習、スポーツなど	5月～2月 各学校の授業の時間帯(特別活動(クラブ)、生活科、理科、社会、国語、総合学習、その他の活動等)	実施予定:280回(全28校×10回) ※需要に応じ調整
酒田っ子はぐくみ事業	小中学校と連携。現代社会を生き抜くうえで確かな力、身に付けなければならない基本的な知識の習得、職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上を図る。	講師派遣。①音楽でコミュニケーション、②コミュニケーション講座、③郷土に学ぶ、④郷土とおもしろいつながるほか	6月～2月の9:25～11:25、13:20～15:20の間で1講座45分から90分授業	実施予定:22回
酒田っ子根の力育成プロジェクト事業	酒田っ子につけたい力を「まなびの樹」にたとえ、よりよい社会や幸福な人生に向けて、学びを活かしていく「根の力」を育てる事業を展開する。	①吉野弘氏の詩に触れる朗読会を開催する ②異年齢で交流する場を提供するため、自然体験活動(チャレンジ冒険団)を実施する ③ものづくりの楽しさを知り、意欲を高めるために中村ものづくり事業との連携を図る	未定	内容の詳細・実施方法等は検討中

第3節 広報・情報提供体制の充実

(1) 学習情報の発信

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
生涯学習情報の提供	学校を通して市内全小中学生へ情報を提供。媒体を分けて、より多くの方に情報が届くよう情報発信を実施。	カモンくんこどもニュース(隔月)、市ホームページ(随時)、市フェイスブック(随時)、市広報(随時)での情報提供		

II <つながる>市民の心を豊かにする「知」の拠点機能の拡充

第4節 図書館の持つ様々な機能の拡充

(1) 図書館サービスの拡充 (2) 子どもの読書活動の推進

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
ミライニ管理運営事業	市民の多様な活動及び学習の場を創出し、市民の交流促進と中心市街地の活性化を図る。	図書資料の充実に努め、職員研修を実施し、レファレンスサービスの充実を図る。 第4次酒田市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進する。		

第5節 関係機関との連携の推進

(1)ミライニの利用推進 (2)学校、大学等との連携

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
ミライニ管理運営事業【再掲】	市民の多様な活動及び学習の場を創出し、市民の交流促進と中心市街地の活性化を図る。	広場、ホテルと隣接し、多様な来館者のたまり場、出会いと交流の場となることから、図書館での図書企画展示、観光案内所による観光企画展示のほか、パブリックビューイング、ミニコンサート等、多様な展示やイベントを開催する。		
地域人材交流講座【再掲】	—	—	—	—
酒田っ子はぐくみ事業【再掲】	—	—	—	—
酒田っ子根の力育成プロジェクト事業【再掲】	—	—	—	—

Ⅲ <生かす>生涯学習の学びの活用

第6節 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進(スクール・コミュニティの推進)

(1)地域学校協働活動の充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
地域の教育力向上事業	地域全体で「地域の子」「社会の子」として、子どもと地域の人々と交流できる機会を設け、自然に親しみ、社会のルールを身につけ、自分の考えをしっかりと伝える力などを育む。	コミュニティ振興会における地域の特性を生かした青少年の体験活動や健全育成に係わる講座などの実施について支援。	4月～3月	
社会教育スキルアップ講座	各地域の特色を生かした社会教育事業の推進のため、コミュニティ振興会の職員等の資質向上と地域人材育成を図る。	本市で開催される山形県社会教育研究大会へ参加し、県内各地域の特色ある活動事例を研修し、課題解決や地域活動に活かす。	11月5日(金) (全1回)	参加者目標数:約40名 (コミュニティ振興会職員ほか)

第7節 郷土愛にあふれた人材の育成

(1)地域人材の育成 (2)公益活動の充実

事業名	目的	内容	期日・時間帯等	予定(目標)値等
地域人材交流講座【再掲】	—	—	—	—
鳥海山・飛島ジオパーク講座【再掲】	—	—	—	—
中高生ボランティア活動支援	ボランティア活動とふれあい交流を通して、思いやりの心を育み、異年齢間の交流を推進する。	中高生ボランティアサークルかざみどりへの支援。	活動予定(年間計画)10回	新規入会者目標数:10人
地域の教育力向上事業【再掲】	—	—	—	—
二十歳を祝う成人の集い開催事業	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、対象者による実行委員会で協議しながら式典を開催する。	対象者たちによる自主的な運営を図るべく、市内企業や地域からの推薦によって実行委員を募集する。実行委員会では、司会、所感発表等の式典時の役割、実行委員会企画について意見を出し合い、協力して式典を開催する。	・令和8年5月4日(月)式典開催 ・令和9年5月4日(火)式典に向けて実行委員会を組織	
ホール機器操作講習会	ホールの機器操作資格者を養成し、総合文化センターホール・シアターOZの利用促進を図る。	自主活動推進のため総合文化センターホール・シアターOZの機材・器具の操作講習会。	・シアターOZ(3日間全1回)時期検討中 ・文化センター(3日間全2回)時期検討中	

酒田市生涯学習推進計画

【後期計画】

学ぶ つながる 生かす 人生100年時代の生涯学習



令和8年3月
酒田市教育委員会

目次

第1章 計画の策定	
第1節 計画策定の趣旨	1
第2節 計画の位置づけ	1
第3節 計画の期間	1
第4節 国・県のうごき	2
第5節 前期計画の評価	3
第2章 計画の目標と基本方針	
第1節 目標	3
第2節 基本方針	4
第3節 重点施策	4
第4節 計画の体系	4
第3章 施策の展開	
I 《学ぶ》人生100年時代を見据えた学びの推進	
第1節 生涯学習機会の提供	5
第2節 家庭・学校・地域での学び	6
第3節 広報・情報提供体制の充実	8
II 《つながる》市民の心を豊かにする「知」の拠点機能の拡充	
第4節 図書館の持つ様々な機能の拡充	9
第5節 関係機関との連携の推進	10
III 《生かす》生涯学習の学びの活用	
第6節 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進 (スクール・コミュニティの推進)	11
第7節 郷土愛にあふれた人材の育成	12
○成果指標	14
○目標数値	14
○酒田市生涯学習推進計画(後期計画)策定の経緯	16
○令和7年度酒田市社会教育委員名簿	16
○酒田市社会教育委員条例	16
○酒田市生涯学習推進委員会設置規程	17

第1章 計画の策定

第1節 計画策定の趣旨

近年は、人口減少・少子高齢化をはじめ、グローバル化の進展、自然災害の脅威など、社会を取り巻く環境が大きく変化する中、生涯学習に対する人々の意識やニーズも多様化し、地域における課題も複雑さを増しています。

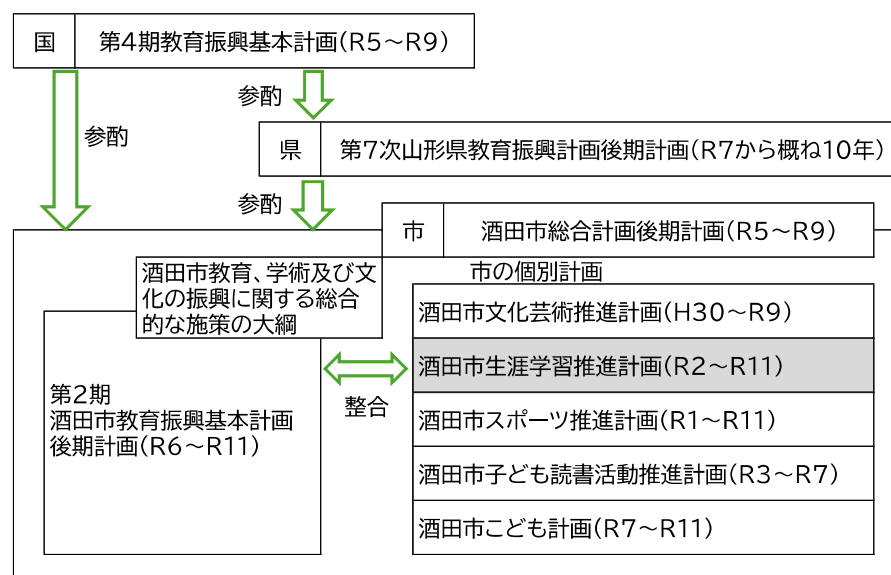
このような社会の変化に対応しながら、人生100年時代を見据え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、全ての市民が生涯学習活動に取り組み、自ら学び、他者とのつながり、持続可能なまちづくりにつながる生涯学習活動を推進していく必要があります。

本市では、第3期の酒田市生涯学習推進計画（令和2年度～令和11年度）を策定し、「学ぶ つながる 生かす 人生100年時代の生涯学習」をキャッチフレーズに掲げ、基本的な考え方や方向性を整理し、関連施策を進めてまいりました。

令和6年1月に第2期酒田市教育振興基本計画（後期計画）、令和7年3月に第7次山形県教育振興計画（令和7年度から概ね10年間）が策定されたことから、これらの計画との整合を図るため、体系図、基本方針、主な施策について見直しを行うものです。

第2節 計画の位置づけ

本計画は、酒田市総合計画、酒田市教育振興基本計画を上位計画として、具体的に生涯学習を推進するための個別計画です。



第3節 計画の期間

令和8年度から令和11年度までの4年間とします。

第4節 国・県の動き

(1) 国の動き

令和5年6月、令和5年度から9年度までを計画期間とする、第4期教育振興基本計画が策定されました。計画のコンセプトを掲げ、今後の教育政策に関する基本方針が示されています。

計画のコンセプト：

「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」

「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

(2) 県の動き

令和7年3月に、第7次山形県教育振興計画（令和7年度から概ね10年間）が策定されました。この計画では、目標及び県民へのメッセージ等を示すとともに、今後5年間に取り組む施策の方針及び主要施策の柱立てであるアクションが示されています。

目標：ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

- ◆方針Ⅰ 一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現する
 - アクション1 自ら考え、主体的に行動する力を育む
 - アクション2 新たな価値を創造する力を育む
 - アクション3 互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む
- ◆方針Ⅱ 誰一人取り残されず、誰もが続けられる学びの機会を充実する
 - アクション4 それぞれの個性を生かし尊重した学びを実現する
 - アクション5 生涯にわたり学びやスポーツ・文化芸術活動を楽しむ
- ◆方針Ⅲ 社会の変化に対応した学びの循環を整える
 - アクション6 教育DXを実現する
 - アクション7 活力あふれる学校を実現する
 - アクション8 家庭や地域と一体となって学びを支える

※第5次山形県生涯学習振興計画（平成30年度～令和4年度）は、期間終了後、山形県教育振興計画に包含されています。

第5節 前期計画の評価

成果指標

		前期計画策定時	目標 (R6)	実績 (R5)
1	《学ぶ》 生涯学習を行っている市民の割合	65.5% (H30)	70%	58.6%
2	《つながる》 地域の行事に参加した市民の割合	51.5% (H29)	60%	48.9%
3	《生かす》 生涯学習の成果を地域・まちづくりで生かしたいと思う割合	65.6% (H30)	70%	75.2%

※実績値は、酒田市教育振興基本計画後期計画策定時に教育委員会が実施した市民アンケートより(R5のみ実施)。

「3. 生涯学習の成果を地域・まちづくりで生かしたいと思う割合」について、目標値70%に対して、実績が75.2%と上回っています。「1. 生涯学習を行っている市民の割合」「2. 地域の行事に参加した市民の割合」については、いずれも目標値に達していない状況です。市民の生涯学習を推進するために、講座や学習機会の充実を図り、さらに広報活動にも力を入れていく必要があります。

今後も市民へ生涯学習機会を提供するとともに、その成果を発表したり、指導したりする場を設けるなど社会参画、社会貢献へ、そして地域づくり・まちづくりへとつなげていく必要があります。

第2章 計画の目標と基本方針

第1節 目標

《キャッチフレーズ》

学ぶ つながる 生かす 人生100年時代の生涯学習

《基本目標》

人づくり：自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人を育みます

地域づくり：酒田の良さを愛し、地域社会を協働で創る担い手となる人を育み、持続可能なまちづくりに努めます

第2節 基本方針

- (1) 《学ぶ》 人生100年時代を見据えた学びの推進
- (2) 《つながる》 市民の心を豊かにする「知」の拠点機能の拡充
- (3) 《生かす》 生涯学習の学びの活用

第3節 重点施策

酒田市教育振興基本計画後期計画の基本方針にも掲げている下記の2つについて、重点施策として取り組みます。

- (1) 図書館の持つ様々な機能の拡充
- (2) 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進(スクール・コミュニティの推進)

第4節 計画の体系

基本目標	基本方針	主な施策
人づくり: 自ら学び、 考え、時代 の変化に対応 できるたくましい 人を育みます	《学ぶ》 人生100年時 代を見据えた 学びの推進	1 生涯学習機会の提供 (1)各種講座の充実 (2)学習成果の発表の場の確保
		2 家庭・学校・地域での学び (1)家庭教育支援の充実 (2)学校での学びの充実 (3)地域での学びの充実
		3 広報・情報提供体制の充実 (1)学習情報の発信
地域づくり: 酒田の良さ を愛し、地域社 会を協働で創 る担い手となる 人を育み、持 続可能なまち づくりに努めま す	《つながる》 市民の心を豊 かにする「知」 の拠点機能の 拡充	4 図書館の持つ様々な機能の拡充【重点施策】 (1)図書館サービスの拡充 (2)子ども読書活動の推進
		5 関係機関との連携の推進 (1)ミライニの利用推進 (2)学校、大学等との連携
	《生かす》 生涯学習の学 びの活用	6 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの 推進(スクール・コミュニティの推進)【重点施策】 (1)地域学校協働活動の充実
		7 郷土愛にあふれた人材の育成 (1)地域人材の育成 (2)公益活動の充実

第3章 施策の展開

第1節 生涯学習機会の提供

1 現状と課題

生涯学習は、一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るために、各人が自発的、主体的な意思に基づき、自分に適した方法、手段で生涯にわたって継続的に行う学習です。

人生100年時代の到来や少子高齢化、人口減少など、社会情勢が急激に変化する中、防災、福祉、医療、介護、子育て、環境保全など身近な市民生活においても、さまざまな課題が出てきています。

それらの課題に対応するため、市民が地域社会に参加し、学び合い、育ち合う生涯学習の環境を充実させることが必要です。市民が意欲を持って生涯学習に取り組み、成果を生かしたり、楽しみながら実践したりしながら地域課題に取り組むことは、さらなる学びを生み出し、市民ひとり一人のウェルビーイングの向上につながります。

ウェルビーイングの向上とは、多様な市民が幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられることであり、生涯学習を通じて地域に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) 各種講座の充実

市民の学習ニーズに沿った内容や地域課題の解決につながる内容など特色ある講座等を開催していきます。

学ぶことで学習に対する充実感やさらなる学びへの意欲を生み出し、そして学びの成果を地域へ還元していく「学びの循環」へとつながるよう、講座の提供や内容の充実に取り組んでいきます。

なお、どのような学習テーマが求められているのか、社会教育委員の会議、公民館運営審議会等で意見を伺いながら検証していきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
シティプロモーション推進事業	市長公室	出前講座では、市民の学びのため職員が出向いて、本市の施策や事業・制度等について、情報提供を行う。
鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	交流観光課	ジオツーリズムによる観光振興や自然環境の保全等を目的に、出前講座やジオツアーを行う。
男女共同参画推進事業	共生社会課	ウィズ講座等のジェンダー平等を推進する取組みを通して一人ひとりの活躍が大切にされる共生社会の実現を図る。
多文化共生推進事業	共生社会課	市民の国際交流や外国出身者の日本語学習支援により、多文化共生の推進を図る。

平田地域振興事業	平田総合支所	庄内さしこの伝統的技術や文化を後世へ伝えるため、平田さしこ教室を開催する。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。 ・酒田愛ごはん ・スマートフォン教室 ・鳥海山・飛鳥ジオパーク講座 ・夏休み宿題お手伝い教室
生涯学習振興総務管理事業	社会教育課	充実した生涯学習講座を実施する生涯学習施設「里仁館」の運営を支援する。

(2) 学習成果の発表の場の確保

生涯学習活動を推進するためには、学習成果の発表や指導など地域社会で生かされる場の充実、環境づくりも必要です。

成果発表や指導の場を提供することにより、幅広い世代の市民が交流し、共に学び合うことで新たな学びにつながります。また、身に付けた知識や能力を発揮して人のために役立てることで、地域のつながりがさらに深まります。

市民が生涯学習の成果発表や指導ができるよう、総合文化センターや酒田駅前交流拠点施設ミライニ、出羽遊心館など公共施設を提供していきます。

総合文化センターでは、学びの成果を発表する場として、利用団体からなる実行委員会を組織して「生涯学習まつり」を毎年実施しており、今後も継続していきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
平田地域振興事業	平田総合支所	「ひらた文化祭」では、日ごろの生涯学習の学習成果の発表を行う。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。 ・生涯学習まつり ・酒田マリーンジュニア合唱団 ・ミライニステージ ・出羽遊心館ステージ

第2節 家庭・学校・地域での学び

1 現状と課題

子どもたちの教育は、家庭・学校・地域が、それぞれ適切な役割を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要ですが、近年は少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加、地域の間関係の希薄化など、社会情勢が大きく変化しています。

家庭環境も大きく変わりつつあり、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減ったり、子育ての悩みを気軽に相談できる人が身近にいなかったりしているため、育児する保護者が孤立しないように、支援が必要です。

保護者が安心して子育てができる環境づくりのため、家庭・学校・地域が連携して取り組むことが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) 家庭教育支援の充実

子どもたちが家庭で発達段階に応じた基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けられるよう、また家庭での対話を大切にできる環境づくりを推進していきます。

親子一緒に楽しみながら子どもの創造性を育む講座など、親子がふれあう学習機会の提供に努めます。また、子育ての不安や悩みを保護者が専門家へ相談できる場や家庭教育に関する学びの場を提供するなど、家庭教育支援の充実を図っていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
こども家庭センター運営事業	こども未来課	児童福祉と母子保健の一体的な組織として相談支援を行い、相談を受けて支援につなぐためのマネジメント等を行う。
児童センター運営事業	保育こども園課	児童センターで、小学生の親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談対応、育児講座等を行う。 また、総合文化センターに長期休暇中の子どもの遊び場(あのもしえパーク)を設ける等、親子の交流の場の提供を行う。
子育て支援センター運営事業	保育こども園課	未就学児の親子の交流の場の提供と交流の促進、子育ての相談の受付、育児講座等を行う。
母子保健事業	健康課	乳幼児健診の際、保健師や保育士などが保護者の育児相談に対応する。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。 ・地域家庭教育講座 ・幼児すてっぷ出前講座 ・親子ですくすく出前講座

(2) 学校での学びの充実

本市では、令和2年度から酒田方式の小中一貫教育を進めており、その中で子どもたちにつけたい力を酒田市「まなびの樹」にたとえ、よりよい社会や幸福な人生に向けて学びを生かしていく「根の力」を育てることを重点として取り組んでいきます。

地域住民が多様な経験や知識を生かして子どもの学習に関わることは、子どもの学びを豊かにするとともに、地域の人と人のつながりを育むため、地域人材を活用した学校と連携した学習を充実していきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
小中一貫教育推進事業	学校教育課	中学校区の実態に即した小中一貫教育推進のため、キャリア教育を含めた様々な取り組みについて支援する。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。 ・地域人材交流講座 ・酒田っ子はぐくみ事業

酒田っ子根の力育成プロジェクト事業	社会教育課	高校生が地元講師から吉野弘氏の詩の朗読を学び、発表する。地元の偉人を知り、表現して、次の世代へ伝える。
-------------------	-------	---

(3) 地域での学びの充実

地域が学校や子どもたちを応援・支援するという一方向の関係だけでなく、子どもを縁にし、地域と学校がパートナーとして連携・協働することで、将来を担う人材を育成していきます。

また、多様化する課題に対応するためには、さまざまな地域の団体がそれぞれの強みを生かした活動を行うことが効果的であることから、青少年健全育成に取り組む各種団体と連携しながら、その活動を支援していきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
酒田っ子根の力育成プロジェクト事業	社会教育課	「チャレンジ冒険団」は、学校や年齢の違う子どもたちが集まり、自然の中で学び合う機会を提供する。
生涯学習振興総務管理事業	社会教育課	本市の社会教育の振興のため、青少年の健全育成に取り組む団体の運営支援を行う。

第3節 広報・情報提供体制の充実

1 現状と課題

市民が生涯学習を始めるきっかけとして、まずその学習情報に触れることが必要です。多くの学習情報を提供することは、市民がその中から自分に合った学びを選択することにつながります。

学習情報を市民が得る手段は、広報紙、チラシ等の紙媒体のほか、ホームページ、SNSなど多様化しています。

市民の生涯学習活動を推進していくためには、自分の目的に合った生涯学習に関する情報をより得やすくする取り組みが求められています。

2 主な施策の方向性

(1) 学習情報の発信

本市では、広報紙や市公式ホームページ、カモンくんこどもニュース等で生涯学習に関する情報を提供しています。また、生涯学習サークル案内のチラシを作成して団体や活動内容を紹介しているほか、随時イベント情報等を市のSNSやチラシで発信しています。

学習情報の発信については、情報を受け取る側の利便性も考慮しながら、効果的な情報提供を行っていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	子どもたちへ生涯学習情報を発信する。 ・カモンくんこどもニュース 生涯学習サークルの会員募集を支援する。 ・生涯学習サークル案内(チラシ)

第4節 図書館の持つ様々な機能の拡充【重点施策】

1 現状と課題

令和4年に酒田市立中央図書館が酒田駅前に移転し、オープンしました。八幡分館、松山分館、ひらた図書センターの管理も含め指定管理者制度を導入して運営しています。本を「読む」「貸す」だけでなく、地域課題解決の支援、多様な人材の交流・学習の場の提供など、新たな役割が期待されています。

中央図書館が駅前交流拠点施設ミライニに移転して環境整備がされたことで、市民にとっても以前よりも身近な場所となっています。これにより、読書への関心につながるよう、さらに効果的な取り組みが必要です。

特に子どもの読書活動は、子どもが自ら学び、考え、人生をより深くより豊かに生きる力を育むものです。各学校では、子どもの発達段階に応じた読書指導が進められていますが、朝読書等の機会が減少していることもあり、子どもの読書習慣の形成を図る取り組みの推進が必要です。

2 主な施策の方向性

(1) 図書館サービスの拡充

「学びたい、知りたいに応え、地域課題の解決への支援を担う知の拠点」としての役割を果たすため、図書資料の充実に努めていきます。また、調べものについて資料や情報を提供するレファレンス機能の向上を図るため、図書館職員の研修を実施してスキルアップに努めていきます。

また、郷土資料コーナーの充実、企画展示や交流イベントの実施などにより、図書館としての魅力を高める取り組みを行っていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
ミライニ管理運営事業	社会教育課	職員の研修、資料の収集

(2) 子どもの読書活動の推進

本市では、子ども読書活動推進計画を策定して、子どもの読書活動を推進していきます。乳幼児期から本に親しむため、3か月児健診時に絵本の読み聞かせや絵本をプレゼントする「ブックスタート」事業を行っています。また、家読（うちどく）の啓発活動として、保育所や学校へ年代別のお薦め本のチラシを配付するなど、切れ目のない読書活動の推進を図っています。

また、中学生・高校生の読書活動につなげるため、図書館に足を運ぶきっかけとなるようなイベントや中学生・高校生からのリクエストが多い分野の本の提供にも努めていきます。

市立中央図書館職員と小・中学校の図書専門員とが連携して研修を行い、図書館業務の資の向上と、子どもの読書活動の推進を図っていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
ミライニ管理運営事業	社会教育課	子ども読書活動推進計画の推進

第5節 関係機関との連携の推進

1 現状と課題

酒田駅前交流拠点施設ミライニは、まちの新たな賑わい創出の拠点としても期待されています。賑わい創出の拠点・交流の拠点としてさまざまな住民のニーズに応えるため、新たな情報や知見を得て地域課題解決への取り組みをしたり、交流を促進したりするため、多様な組織、団体と連携を強化していくことが重要となっています。

また、市民の読書活動を推進するためには、図書館へ行くことが難しい方でも手軽に本に触れることができるような環境づくりも必要です。そのためには、市内各機関や団体と連携して、図書機能を広げる取り組みが必要です。

2 主な施策の方向性

(1) ミライニの利用推進

酒田駅前交流拠点施設として、地域の各種団体、商店街組織、民間企業等との連携を通して、図書館機能だけではなく、イベントやワークショップ等を開催し、多角的な学びと交流を促進する場としていきます。

様々なスポーツのパブリックビューイングやコンサート、マルシェなどを開催しながら、賑わいのある生涯学習活動の場としての魅力を高めていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
ミライニ管理運営事業	社会教育課	各種団体との連携、賑わい創出事業

(2) 学校、大学等との連携

生涯学習の拠点として、中央図書館や総合文化センター、東北公益文科大学などの各機関が相互に連携しながら、市民サービスを充実させていきます。

市民の読書活動を推進するため、学校巡回文庫や団体貸出の制度を利用し、学校や保育所等、コミュニティ振興会、病院等へ本を貸し出し、図書館へ来なくても本に触れることができる環境を整備します。

また、東北公益文科大学や他の図書館との相互貸借を行い、市民の読書活動の利

便性向上を図っていきます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
ミライニ管理運営事業	社会教育課	学校巡回文庫、コミセン巡回文庫、相互貸借

第6節 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進（スクール・コミュニティの推進）【重点施策】

1 現状と課題

近年、少子高齢化、人口減少が進行する中で、地域における地縁的なつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。また、学校に対する市民の考え方も多様化し、子どもたちを取り巻く問題も複雑化、困難化しています。

学校と地域がそれぞれの課題を解決するためには、双方の強みを生かし、お互いに補完し合いながら、子どもたちを社会全体で育てていく仕組みづくりが必要となっています。

しかしながら、その活動のためには、教職員の多忙化やコーディネートする人材の確保、地域住民や保護者の相互理解や協力体制など、さまざまな課題があります。本市では、中学校区をエリアとした「酒田型スクール・コミュニティ」を推進しており、地域プロデューサーを配置して取り組んでいます。

2 主な施策の方向性

(1) 地域学校協働活動の充実

「酒田型スクール・コミュニティ」は、子どもを縁として、学校と地域が目的・目標を共有し、連携・協働しようとするもので、この地域と学校の協働活動を支援していくことにより、社会全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域づくり・人づくりを推進していきます。

地域と学校の協働活動により、子どもたちのコミュニケーション能力の向上、子どもたちの自己肯定感や思いやりの心の醸成が期待され、子どもたちが地域へ関心を持ち、地域の一員としての自覚を持つきっかけにもなります。また、教職員と地域住民、保護者の絆が深まることで、よりよい地域づくりへとつながります。

積極的に地域プロデューサーや職員が地域と学校に入って連携を深め、さまざまな形で活動を支援していくことで、地域と学校の協働活動の推進を図ります。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
コミュニティ振興事業	まちづくり推進課	地域課題の解決を図る取り組みの財源として総合交付金をコミュニティ振興会に交付し、持続可能な地域づくりを支援する。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	コミュニティ振興会の職員等の資質向上や情報交換のために研修会を開催する。 ・スキルアップ講座

第7節 郷土愛にあふれた人材の育成

1 現状と課題

グローバル化が進展している現在の社会において、世界に目を向けながらも素晴らしいふるさとの自然や文化をしっかりと認識し、郷土に誇りと愛着を持つことは、地域社会を活性化させ、人々の生活の充実につながります。

しかしながら、近年の社会情勢の変化や地域の教育力の低下により、子どもたちの郷土愛を育む機会の減少が危惧されています。

子どもたちの郷土愛を育むには、地域活動への参加や地域の自然や文化に触れる体験の機会を増やして、地域に誇りや愛着を抱く意識を醸成していくことが必要です。そのためにも、地域活動を推進するリーダーやコーディネート役の人材の確保や、市民が地域活動に参加しやすい環境づくりが大きな課題です。

子どもたちが郷土愛を持ち、自分たちが大切にされていると感じられる環境や、「居場所」と感じられる温かい地域の人間関係があれば、将来的な地元への定住や地域の持続的発展にもつながります。

2 主な施策の方向性

(1) 地域人材の育成

地域づくりのためには、その担い手となる地域人材が不可欠です。コミュニティ組織の職員や役員は、日ごろから多くの人とのつながりを持ち、地域活動の牽引役の役割があるため、コミュニティ組織の職員や役員の研修や情報交換の場を設けて、地域活動運営のスキルアップを図っていきます。

また、本市には、得意分野を持ち地域で活躍しているリーダーや、Uターンを含む移住者等の新たな考え方やアイデアを持つ方々もいます。さまざまな地域住民から子どもたちが話を聞いたり一緒に活動したりする機会を提供していくことによって、郷土愛を身に付けていく土壌をつくっていきます。

(2) 公益活動の充実

生涯学習は、自分自身のための学習だけでなく、学んだ成果を生かすことにも意義があり、学んだことを社会で生かしたい、誰かの役に立ちたいと思うことは、公益活動への第一歩と言えます。学んだことを誰かに教え伝えた結果、誰かの役に立ち喜ばれることで生きがいを見出すことができます。そしてまた別の誰かに伝わることで社会に好循環が生まれ、新たな公益活動につながります。

本市では多くの団体が公益活動に取り組んでいますが、地域課題が多様化し、難しい課題が増加していく中、地域住民や事業者、地域コミュニティ等と連携・協働して取り組むことが必要です。そのためにも、公益活動を推進するリーダーやコーディネート役の果たす役割が一層重要になっています。

将来、地域で活躍できる人材の育成を目指すため、中高生ボランティア「かざみどり」や「二十歳を祝う成人の集い」の実行委員などの若い人の活動を支援していきます。

公益活動の広がりにより、地域の教育力の向上、地域の活性化、住み良い地域づくりにもつながることから、公益活動の充実のための人材育成や環境づくりに取り組みます。

○主な関連事業

施策・事業	担当部署	内容
コミュニティ振興事業	まちづくり推進課	地域人材を育成する研修等の費用を総合交付金として交付し、コミュニティ振興会の人材育成の支援を行う。
市民協働・公益活動推進事業	共生社会課	ボランティア体験機会の提供や、団体向け研修会を行い、市民協働・公益活動の推進を図る。
松山地域振興事業	松山総合支所	松山の歴史・文化を語り合う茶話会を開催する。伝統芸能の担い手育成に繋げる体験事業を開催する。
生涯学習推進講座開催事業	社会教育課	豊かな人生を送るための講座や子どもや若者がふるさとへの誇りと愛着を育む講座を開催する。 ・酒田愛ごはん ・地域人材交流講座 ・鳥海山・飛鳥ジオパーク講座 （再掲） 地域で活躍できる人材の育成の場を目指す。 ・中高生ボランティア「かざみどり」
二十歳を祝う成人の集い開催事業	社会教育課	成人の集い対象者である実行委員が自主的に式典の企画・運営をすることで、地域で活躍できる人材の育成を目指す。

○成果指標

		現状値	目標値 (R11)
1	《学ぶ》 生涯学習を行っている市民の割合	58.6% (R5)	70%
2	《つながる》 市民1人あたり中央図書館入館回数	5.2回 (R6)	5.4回
3	《生かす》 生涯学習の成果を地域・まちづくりで 生かしたいと思う割合	75.2% (R5)	80%

※1、3の現状値は、酒田市教育振興基本計画後期計画策定時に教育委員会が実施した市民アンケートより(R5のみ実施)。

○目標数値

1. 生涯学習機会の提供

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	生涯学習まつり参加団体数	42団体	45団体
2	生涯学習まつり参加人数	2,342人	3,000人

2. 家庭・学校・地域での学び

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	生涯学習講座回数	390回	400回
2	生涯学習講座満足度(参加者アンケート)	99%	100%

3. 広報・情報提供体制の充実

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	ホームページ閲覧数(社会教育分野)	51,274回	56,400回

4. 図書館の持つ様々な機能の拡充

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	市民1人あたり館外貸出冊数	4.8冊	4.9冊
2	15歳未満の1人あたり図書貸出冊数(※)	14.5冊	15冊

(※) 児童書貸出冊数÷15歳未満の人口

5. 関係機関との連携の推進

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	中央図書館の団体貸出の冊数	8,558冊	10,000冊

6. 地域と学校の連携強化による地域づくり・人づくりの推進

(スクール・コミュニティの推進)

	指標	現状 令和5年度	目標 令和11年度
1	地域行事への参加率 (市民アンケート)	48.9%	60%

7. 郷土愛にあふれた人材の育成

	指標	現状 令和6年度	目標 令和11年度
1	地域人材交流講座の延べ回数	265回	280回
2	地域の教育力向上 スキルアップ講座の参加人数	25人	36人

資料

○酒田市生涯学習推進計画（後期計画）策定の経緯

令和7年 8月 7日	第1回酒田市生涯学習推進委員会
令和7年 8月26日	第1回酒田市社会教育委員の会議
令和7年11月 6日	第2回酒田市社会教育委員の会議
令和7年11月10日	第2回酒田市生涯学習推進委員会
令和8年1月6日～25日	パブリックコメント実施

○令和7年度酒田市社会教育委員名簿

	氏名	推薦団体等
1	鈴木 有人	酒田市小学校長会
2	鹿野 和之	酒田飽海PTA連合会
3	森 真紀子	酒田市法人保育園・認定こども園連絡協議会
4	宮内 悟	酒田市芸術文化協会
5	大泉 さゑ	酒田市市街地コミュニティ振興会連絡協議会
6	五十嵐 武	酒田市コミュニティ振興会連絡協議会
7	土井 渉夢	酒田青年会議所
8	阿部 公一	東北公益文科大学
9	富士 直志	識見を有する者
10	遠田 裕子	識見を有する者
11	渡邊 敦	識見を有する者
12	高谷 美穂	識見を有する者

○酒田市社会教育委員条例

平成17年11月1日
条例第191号

（趣旨）

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び第18条の規定に基づき、社会教育委員の設置、定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

（社会教育委員の設置）

第2条 酒田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、社会教育委員（以下「委員」という。）を設置する。

（委員の定数）

第3条 委員の定数は、35人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

（委員の任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員の解嘱）

第5条 委員に特別の事情が生じた場合には、教育委員会は、その任期中であっても、これを解嘱することができる。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日以降最初に委嘱される委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成19年5月31日までとする。

附 則 (平成25年12月24日条例第52号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○酒田市生涯学習推進委員会設置規程

(平成 21 年 4 月 1 日教育委員会訓令第 4 号)

改正 平成 22 年 3 月 31 日教育委員会訓令第 4 号 平成 23 年 3 月 30 日教育委員会訓令第 1 号
平成 24 年 5 月 9 日教育委員会訓令第 2 号 平成 24 年 12 月 3 日教育委員会訓令第 4 号
平成 25 年 3 月 25 日教育委員会訓令第 2 号 平成 26 年 3 月 17 日教育委員会訓令第 1 号
平成 28 年 3 月 31 日教育委員会訓令第 5 号 平成 29 年 3 月 31 日教育委員会訓令第 2 号
平成 30 年 3 月 30 日教育委員会訓令第 1 号 平成 30 年 12 月 1 日教育委員会訓令第 2 号
平成 31 年 3 月 22 日教育委員会訓令第 3 号 令和 3 年 3 月 19 日教育委員会訓令第 2 号
令和 4 年 3 月 23 日教育委員会訓令第 5 号 令和 5 年 3 月 22 日教育委員会訓令第 2 号
令和 6 年 4 月 1 日教育委員会訓令第 1 号

(設置)

第 1 条 本市の生涯学習に関する基本方針を決定するとともに、酒田市生涯学習推進計画の着実な推進を図り、本市にふさわしい生涯学習社会の実現を図るため、酒田市生涯学習推進委員会(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 推進委員会の所掌する事務は、次のとおりとする。

- (1) 生涯学習推進計画の立案に関すること。
- (2) 庁内及び関係機関並びに団体の総合調整に関すること。
- (3) 生涯学習推進の実施計画及び評価に関すること。
- (4) その他生涯学習の推進に必要な事項

(組織)

第 3 条 推進委員会は、別表に掲げる委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

(会議)

第 4 条 推進委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

3 委員長は、必要に応じ推進委員会の会議に委員以外の職員の出席を求めることができる。

(生涯学習庁内作業部会)

第 5 条 推進委員会に諮るべき事項の調査検討及び連絡調整を行うため、生涯学習庁内作業部会を置くことができる。

- 2 生涯学習庁内作業部会は、部会長及び部員をもって組織する。
- 3 部会長は、社会教育課長をもって充てる。
- 4 部員は、別表に掲げる各委員の推薦を受けた職員をもって充てる。
- 5 会議は、部会長が招集し、その議長となる。
- 6 部会長は、必要に応じ部員以外の職員の出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 推進委員会の事務局は、社会教育課に置く。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、推進委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月31日教育委員会訓令第4号)

この訓令は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日教育委員会訓令第1号)

この訓令は、平成23年4月18日から施行する。

附 則(平成24年5月9日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、平成24年5月9日から施行する。

附 則(平成24年12月3日教育委員会訓令第4号)

この訓令は、平成24年12月3日から施行する。

附 則(平成25年3月25日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月17日教育委員会訓令第1号)

この訓令は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月31日教育委員会訓令第5号)

この訓令は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年3月31日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月30日教育委員会訓令第1号)

この訓令は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成30年12月1日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、平成30年12月1日から施行する。

附 則(平成31年3月22日教育委員会訓令第3号)

この訓令は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和3年3月19日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和4年3月23日教育委員会訓令第5号)

この訓令は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月22日教育委員会訓令第2号)

この訓令は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和6年4月1日教育委員会訓令第1号)

この訓令は、令和6年4月1日から施行する。

別表(第3条、第5条関係)

役職	職名
委員長	教育次長
副委員長	教育委員会企画管理課長
委員	総務部総務課長
	総務部財政課長
	企画部企画調整課長
	地域創生部商工港湾課長
	市民部まちづくり推進課長
	市民部共生社会課長
	健康福祉部地域福祉課長
	健康福祉部こども未来課長
	健康福祉部健康課長
	教育委員会学校教育課長
教育委員会スポーツ振興課長	

令和7年度社会教育活動等一覧

資料 4

No.	団体名	通年・長期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	松原				・松原小2年生まちたんけん		・遊びの学校		・まつばら文化祭	・親子スポーツフェスティバル ・世代交流グラウンドゴルフ大会 ・絆作文コンクール		・カロリング大会		
2	宮野浦					・夏休み学習室開放	・夏休み学習室開放	・子ども教室（数学）	・みやのうらこまつり	・文化祭 ・子ども教室（数学）	・子ども教室（数学）		・子ども教室（数学）	
3	若浜		・地域食堂		花植え(雨天中止) ・若浜小2年まち探検 ・地域食堂		・子どもの居場所づくり事業（2回）	・若浜小2年まち探検 ・地域食堂	・昔遊び（1年生） ・酒田二中職場体験 ・地域食堂	・若浜学区こまつり ・若浜小子ども安全サポーター感謝の会	・ミュージックセラピー（3年生） ・酒田東高ボランティア ・地域食堂		・地域食堂	・子どもの居場所づくり事業
4	富士見	・地域計画「富士見みらい会議」ワークショップ					・富士見っ子夏休み宿題お手伝い教室		「富士見みらい会議」ワークショップ	・文化祭11/1～2 ・「富士見みらい会議」ワークショップ		・花と音楽の街づくり推進協議会 ・「富士見みらい会議」ワークショップ	・泉・富士見学区合同もろっく大会 ・「富士見みらい会議」ワークショップ	
5	浜田 (※R6 内容を 記載)				・クラブ活動支援（絵画、抹茶、スナックゴルフ、フットカーリング、光丘彫り）	・クラブ活動支援			・遊びの楽校（浜子連） ・クラブ活動支援（文化祭）					
6	泉	・絵本の読み聞かせ（8月除く毎月）	・おはながみのポンポンを貼ろう…「まほうの国へ」 ・合評会…発表能力を養う	・端午の節句…こいのぼりをつくろう	・室内苺狩り…苺の生育の学習	・流し宝もの…何が流れてくるかな？	・「こぼれものの夏まつり」～世代を超えた交流の場づくり	・つくってあそぼう…「小さい秋みつけた」ポール紙とティッシュでぶどうを作る	・泉こみせんまつり ・紙ねんどで箱庭づくり	・キャンパスにアクリル絵の具で描く ・絵の合評会…発表能力を養う	・いずみの森のクリスマス	・つくってあそぼう…牛乳パックと折り紙で獅子を作る ・色紙でコマ作り	・バルーンアート	・ひなまつり ・おめでとう1年生
7	松陵	・学びと遊びの楽校「松ぼっくりクラブ」「松げつ教室」（通年）		・酒田まつり松陵傘福山車行列参加		・夏の寺子屋教室（7月下旬～8月上旬）				・遊びの楽校	・冬の寺子屋教室	・親子の食育料理教室		・春の寺子屋教室
8	港南					・おもしろ広場 7/26 午前中 (亀ヶ崎合同)				・港南こみせん祭り 11/16 午前中 (子供の遊び広場)				
9	琢成			・酒田まつり琢成山車行列	・園芸教室	・きらら琢成と琢成小1年生の交流(輪投げ)	・琢成学区ラジオ体操の日	・メディシンポール体験会	・琢成学区文化祭				・きらら琢成と琢成小1年生の交流(昔からの遊びを楽しもう)	・救急救命講習会 ・山車修理・組立練習
10	亀ヶ崎	・亀小クラブ活動支援(5～12月)				・おもしろ広場（港南合同）			・こみせん祭り					

令和7年度社会教育活動等一覧

No.	団体名	通年・長期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11	西荒瀬			・花いっぱいフンドリ ・育てよう・わくわく夢の森（教育力向上事業）	読み聞かせ（健康講座）	・理科授業（4年生「夏の星座」6年生「月の満ち欠け」） ・星空カッチング（教育力向上事業）			・ふるさと産品調理教室（ごはんだーいすき庄内米）（教育力向上事業）	・干し柿作り（教育力向上事業）歴史講演会、熊対策講演会、世代間交流（モルック）	・鮭料理教室（教育力向上事業）高齢者X会（オカリナ、読み聞かせ）健康講座（現役医師講演）		ふるさとカフェ	
12	新堀			・田植えチャレンジ ・サクラマスの放流	・すもう大会	・七夕祭り			・稲刈りチャレンジ ・最上川自然探検隊	・脱穀チャレンジ			・俵編みチャレンジ	
13	広野	・紅花を育てる（4月～10月）	・ふれあい体験	・地域めぐり（外回り） ・三耕園花植え	・出羽人形学びと体験 ・凧づくり体験									
14	浜中	・ジュニアパドミントン教室（5～11月） ・浜っ子るんるんひろば（5～1月）	・農作業体験							・世代間交流	・冬期パドミントン教室 ・スポーツ教室			
15	黒森					・BBQ		・孫親学級			・あったか！年越し大作戦		・少年ふれ太鼓 ・黒森少年歌舞伎少年太鼓	
16	十坂	・十坂元気塾（通年） ・野菜作り（4～11月）	・十坂元気塾「運動指導士」 ・6年ジャガイモ苗植え	・十坂元気塾「余目病院」 ・んめもん食堂 ・3、4年枝豆苗植え ・2年さつま芋苗植え	・十坂元気塾「危機管理課」 ・んめもん食堂	・十坂元気塾「子ども園交流」 ・スポーツ交流（小学校） ・学童夏休み昼食会 ・6年ジャガイモ収穫 ・3、4年枝豆収穫	・十坂元気塾「消費者センター」 ・夏休み食育教室② ・んめもん食堂	・十坂元気塾「小学校6学年交流」 ・んめもん食堂	・十坂元気塾「余目病院」 ・んめもん食堂 ・2年さつま芋収穫	・十坂元気塾「包括支援センターかわみなみ」 ・んめもん食堂 ・十坂文化祭	・十坂元気塾「よねさんの紙芝居」 ・昔の遊び教室 ・んめもん食堂 ・市議会傍聴会	・十坂元気塾「庄内マルト販売」 ・新春麻雀、将棋大会 ・新春放談会、卓球大会	・十坂元気塾「山容病院」 ・んめもん食堂	・十坂元気塾「元気王国」
17	東平田			・田植え体験		・夏まつり参加体験	・郷土史体験 ・地区夏まつり	・新井田川を調べよう水源調査 ・稲刈り体験			・収穫を感謝する会			
18	中平田				・世代交流グラウンドゴルフ	・体験学習		・子供神楽(敬老会)	・子供神楽(ふるさとまつり)		・竹とんぼ作り ・ピザ作り			
19	北平田	・子ども放課後広場（通年）	・ひょうたん作り ・子ども放課後広場			・おやつ作り教室	・おばけカボチャコンテスト	・工作教室		・読み聞かせ会				・茶道教室
20	上田						・サマースクール		・上田地区グラウンドゴルフ交流会 ・交通安全教室 ・防災訓練	・案山子まつり	・べっち大会 ・クリスマス会		・3世代交流会 ・冬季スポーツ大会	・卒園茶会 ・地区一斉クレーン作戦
21	本楯		・鳥海小クラブ「村の名人」	・ちびっこ田植え	・サクラマス放流 ・サイクリング（交通安全教室） ・春の花いっぱい運動 ・マイタケ育成事業		・夏休み学習会（3日間午前中）	・ちびっこ田稲刈り	・ちびっこ田脱穀	・秋の花いっぱい運動（チューリップ植栽）	・ハム、ソーセージ手作り教室（2回）		・冬季親善スポーツ大会（モルック）	
22	南遊佐			・ふるさと花と緑の集会		・マイ夢七夕フェスタ ・まなびの里教室（ジオパーク）	・学びの里教室（英会話教室、フランス教室、刺し子教室、木工教室）		・ふれあいグラウンドゴルフ ・南遊佐の歴史めぐり	・ふれあい公式ワナゲ大会	・チャレンジそば打ち体験 ・すくすくみんなで交流会			・卒業お茶会

令和7年度社会教育活動等一覧

No.	団体名	通年・長期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	観音寺	・地域にぎわい活性化の創出(通年) ・観音寺市(通年) ・キッチン-出店(4~12月)		・まちサロン ・777-ロード 植栽	・絵灯籠作りと展示 ・まちサロン	・絵灯籠作りと展示 ・まちサロン	・絵灯籠作りと展示 ・まちサロン ・中学生総合学習(2年生5名) 酒田市合併20周年記念復興やわたの夏まつり出店	・まちサロン ・公園管理とバスケボードの設置完了	・まちサロン ・4地区合同事業 ・酒田市合併20周年記念復興やわたの秋まつり	・まちサロン	・まちサロン		・まちサロン ・お雛様展示	・まちサロン ・お雛様展示
25	一條				・ニューススポーツ大会(中学生ボランティアスタッフ)	・夏祭り(小学生S-JINK、中学生ボランティアスタッフ)	・キーホルダー作り & 中学生総合的学習	・絵手紙教室(文化祭作品) & ルービッククレースマスター	・ふれあいスポーツ大会 & 福祉のお話		・習字教室 & 大正琴にふれてみよう		・ふれあい給食メッセージカード	
26	大沢	・清流太鼓活動(5~12月上旬) ・通所型サービスB(通年)			・畑の学校(花植え) ・レクリエーション大会 ・百歳体操研修会	・百歳体操研修会	・夏休みkids楽校	・伝統健康食の料理教室	・百歳体操研修会 ・やわた大沢復興フェス(4地区合同事業)		・地域交流会 ・百歳体操研修会 ・冬休みKids楽校	・雪遊び交流会(八幡・東村児童交流の翼)	・百歳体操、小学生交流会	・春休み kids楽校 ・百歳体操研修会
27	日向	・通所型、訪問型サービスB(通年) ・獣害対策(通年)	・特殊詐欺防止防犯講習会	・畑の楽校(耕起) ・日向ぼっこスクールのこどもの日イベント ・鳥海八幡中総合学習	・畑の楽校(からどり植え付け) ・日向地区親睦大運動会 ・日向ぼっこスクール(花壇整備) ・移動するコミュニティ ・集落支援員と行く買い物支援バスツアー	・移動するコミュニティ ・にっこりランド 夏祭り ・鳥海八幡中総合学習 ・笹巻きづくり ・救急救命講習会 ・高齢者軽スポーツ交流大会 ・にっこり体操交流会(手ぬぐい帽子づくり)	・畑の楽校(升田かぶ播種)	・日向ぼっこスクール(宿題やろDAY) ・PPバンドのかごバッグづくり	・移動するコミュニティ ・4地区合同事業 ・PPバンドのかごバッグづくり ・日向ぼっこスクール(あそぼDAY、花壇整備) ・にっこり体操(もぎりアート、モチーフ編み) ・集落支援員と行く買い物支援バスツアー ・高齢者学習会(ジオパークについてのお話)	・移動するコミュニティ ・日向地区秋祭り ・鳥海八幡中総合学習 ・畑の楽校(からどり収穫) ・にっこり体操(モチーフ編み)	・ひとり暮らし高齢者へクリスマスカード年賀状 ・畑の楽校(かぶ収穫) ・鳥海八幡中総合学習 ・にっこり体操(モチーフ編み)	・移動するコミュニティ ・除雪安全講習会 ・にっこり体操(モチーフ編み) ・歌いながら、手指を動かし健康づくり講座 ・よねさんの紙芝居(ふるさと日向の教科書づくりヒアリング)	・みぞづくり ・ひな人形展示 ・にっこり体操(モチーフ編み)	・ひな祭りの集い ・にっこり体操交流 ・集落支援員と行く買い物支援バスツアー
28	南部	・集会室(旧体育館)開放(通年)			・軽スポーツ大会		・南部夏まつり ・ふれあいグラウンドゴルフ大会 ・プールへGO!(4コミセン合同事業)			・秋の作品展と賑わいまつり ・新そばを食べる会		・蔵王スキーツアー	・ボウリング大会	
29	山寺	・コミセン開放(通年)		・庄内米を育てよう 松山小学校5年生 田植え体験 児童関係者 21人	・ホテルの里ウォッチング 6/21~27 延べ350人 ・里山巡り(2年生) 6/10 カワニナ放流 児童関係者 25人		・早起きラジオ体操 8/1~10 87人 ・夏休みの宿題をやる(夏休み期間コミセン開放) ・山寺夏まつりボランティア活動 小中高生10人		・庄内米を育てよう 松山小学校5年生 稲刈り体験 児童関係者 24人	・山寺秋の作品展 11/1~3 1人1作品展 山寺地区幼児児童作品 ・R7年あなたが選ぶ 漢字1文字展 ・R7年あなたが選ぶ 新語流行語展	・高齢者慰問 12/6 クリスマスカードづくり 山寺地区子供会 ※85歳以上世帯へシクラメンとクリスマスカードの贈呈 ・年越しそば道場 12/31 18世帯 延べ40人	・新春お茶会 1/10 延べ50人 ・塞道幕展 1/10~1/11 延べ75人		・歓送迎会(たこやきパーティー)

令和7年度社会教育活動等一覧

No.	団体名	通年・長期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	松嶺			・野菜作り（畑作り）	・野菜作り（種植、苗植）	・チャレンジ体操（夏休み）	・夏休み学習会		・野菜作り（収穫祭）	焼き芋作り体験	・巨大ツリー作り			
31	内郷						・木工・陶芸教室 ・松山地域青少年活動 ・内郷地区サマースクール				・親子料理教室			
32	田沢				・北前朝市出店	・北前朝市出店 ・ぜったいもっしえじかん（東陽、郡鏡・山谷合同） ・そば打ち職人育成講座	・北前朝市出店 ・手作り教室（赤飯作り） ・防災マップに関する出前講座	・北前朝市出店 ・そば打ち職人育成講座 ・酒田花火大会鑑賞	・北前朝市出店 ・そば打ち職人育成講座	・北前朝市出店 ・手作り教室（アップルパイ作り） ・そば打ち体験教室 ・餅つき ・カルチャースクール（郡鏡・山谷に参加） ・そば打ち職人育成講座	・手作り教室（傘福飾り作り体験） ・子供会レク（モルック・ドッジボール、カップケーキ作り）		・森の楽校2026（きのご植菌体験とランチ）	
33	東陽			・地域交流 ・さつま芋苗植え		・家族で防災を考える（2年目） ・流しそうめん ・ぜったいもっしえ時間（田沢、群鏡・山谷合同）			芋掘り・焼き芋 干し柿作り	・柿収穫体験&干し柿、さわし柿づくり体験 （東校生徒企画） ・稲わらリース作り	書道教室			
34	郡鏡・山谷					・コミセン学校 ・ぜったいもっしえ時間（東陽・田沢合同）			・ハーブ石鹸作り		・コミセン学校 ・餅つき体験会 ・クリスマス会（ケーキ作り）			・ひなまつり会
35	南平田					・伝統芸能伝承（飛鳥神楽・飛鳥祭奴振り）	・伝統芸能伝承（檜橋神代神楽）				・そば打ち体験	・さしこ教室		
36	砂越・砂越緑町			・手遊びと歌の会	・ギョーザづくり ・絵本・昔話の会	・七夕の会	・夏休みコミセン塾 ・夏祭り	・運動会ごっこの会		・せっけん作り ・紙あそびの会	・えとマスコット作り ・自治会館清掃、独居高齢者へプレゼント訪問	・木工クラフト工作 ・塞道祭		

第 17 回山形県社会教育研究大会 開催要項 (案)

- 1 趣 旨 県内各地の社会教育関係者が、日頃の社会教育活動の実践や研究成果を学び合うことにより、生涯学習社会の実現に向けた社会教育のあり方を探るとともに、社会教育推進の重要な拠点である公民館活動等の充実を図り、県内の社会教育の一層の振興・発展を目指す。
- 2 研究主題 「共に支え合い、未来を拓く社会教育のあり方」
～公益の心で、ウェルビーイングを実現する社会教育～
- 3 主 催 山形県社会教育連絡協議会
- 4 共 催 山形県教育委員会 庄内管内市町教育委員会
- 5 後 援 庄内管内市町 公益財団法人山形県生涯学習文化財団 山形県連合小学校長会
山形県連合中学校長会 山形県高等学校長会 山形県特別支援学校長会
荘内日報 山形新聞・山形放送 山形テレビ さくらんぼテレビ NHK 山形放送局
テレビユー山形 朝日新聞山形総局 毎日新聞山形支局 読売新聞山形支局
- 6 主 管 第 17 回山形県社会教育研究大会実行委員会
- 7 期 日 令和 8 年 11 月 5 日 (木)
- 8 会 場 酒田市公益研修センター (全体会、分科会) 【酒田市飯森山三丁目 5 番地の 1】
出羽遊心館 (分科会) 【酒田市飯森山三丁目 17-86】
- 9 対 象 社会教育委員 公民館運営審議会委員 教育委員 教育行政関係者
公民館・コミュニティセンター等社会教育施設職員 学校教育関係者
社会教育関係団体・NPO 法人等関係者 福祉行政関係者
まちづくり行政関係者 生涯学習関係実践者 計 約 400 名 (予定)
(※事務局含む)

10 日 程

12:30	13:00	13:35	14:00	14:20	16:00
受 付	開 表 会 行 事 彰	ア ト ラ ク シ ヨ ン	休 移 憩 動		分 科 会
-30分	-35分	-25分	-20分		-100分

11 内 容

- (1) 開会行事・表彰
- (2) アトラクション 紙芝居上演 「八幡よみきかせ隊 (酒田市)」
※子ども伝承活動ふるさと塾賛同団体

(3) 分科会

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
分科会 テーマ	現代的課題等への対応	学習機会・学習環境の 充実	関係機関等との連 携・協働	次世代の人材育成
視 点	現代的な課題や地域課 題の解決に向けてどう 取り組むか。	地域住民にとって魅力 的な学習プログラムの 企画・運営や学習環境 の充実をどう図るか。	地域住民が各種団体、 関係機関、学校、企業 等との連携・協働をど う進めていくか。	社会の変化に対応する 地域人材を育成するた めに、社会教育事業を どう仕組むか。
話 題 提供者	【予定市町村】 ◇庄内地区：鶴岡市・酒田市 ◇村山地区：村山市・西川町 ◇置賜地区：川西町・飯豊町 ◇最上地区：鮭川村・戸沢村			
助言者	山形大学 地域教育文化学部 教授 安藤 耕己 氏	東北芸術工科大学 美術科総合美術コース 教授 石沢 恵理 氏	東北大学大学院 教育学研究科 准教授 松本 大 氏	東北公益文科大学 教授 武田真理子 氏

1.2 参加申込み

(1) 参加申込の手順 (仮)

- ①当該市町村教育委員会社会教育主管課への参加申込み締切 令和8年 8月20日 (木)
 ②各市町村教育委員会から各教育事務所への参加者報告締切 令和8年 8月27日 (木)
 ③各教育事務所から大会事務局への参加者報告締切 令和8年 9月 3日 (木)

(2) 参加申込みの様式 ※別紙様式

(3) 参加費の振り込み

- ◎参加費 1,000円
 ①参加費は、参加申込みと同時に下記口座に振り込んでください。振込手数料はご負担願います。

荘内銀行 庄内支庁支店 店番号125 口座番号 _____
 第17回山形県社会教育研究大会 実行委員長 富士 直志

(4) 申込み上の留意点

- ①参加申込みの取り消しがある場合は、大会事務局までFAX・郵送・メールのいずれかで連絡をお願いします。なお、下記の期限を過ぎた場合は対応できませんのでご了承ください。
*参加の取り消し期限：10月5日 (月)
- ②参加分科会の決定については、第1希望を優先しますが、会場の定員の都合上、第2希望に回っていただく場合がありますので、ご了承ください。
- ③駐車券の配付は予定しておりませんが、駐車台数を把握するため、参加申込書の交通手段の欄に、マイクロバス・自家用車等の記入を必ずお願いします。

1.3 大会事務局 第17回山形県社会教育研究大会事務局

〒997-1301 東田川郡三川町横山字袖東7-1 庄内教育事務所社会教育課 主任社会教育主事 今井 正弘
 TEL : 0235-68-1983 / FAX : 0235-66-3015 / メール : imaimas@pref.yamagata.jp
 〒990-8570 山形市松波2-8-1 山形県教育局生涯教育・学習振興課 課長補佐 木村 征子
 TEL : 023-630-2877 / FAX : 023-630-2874 / メール : kimurayuki@pref.yamagata.jp